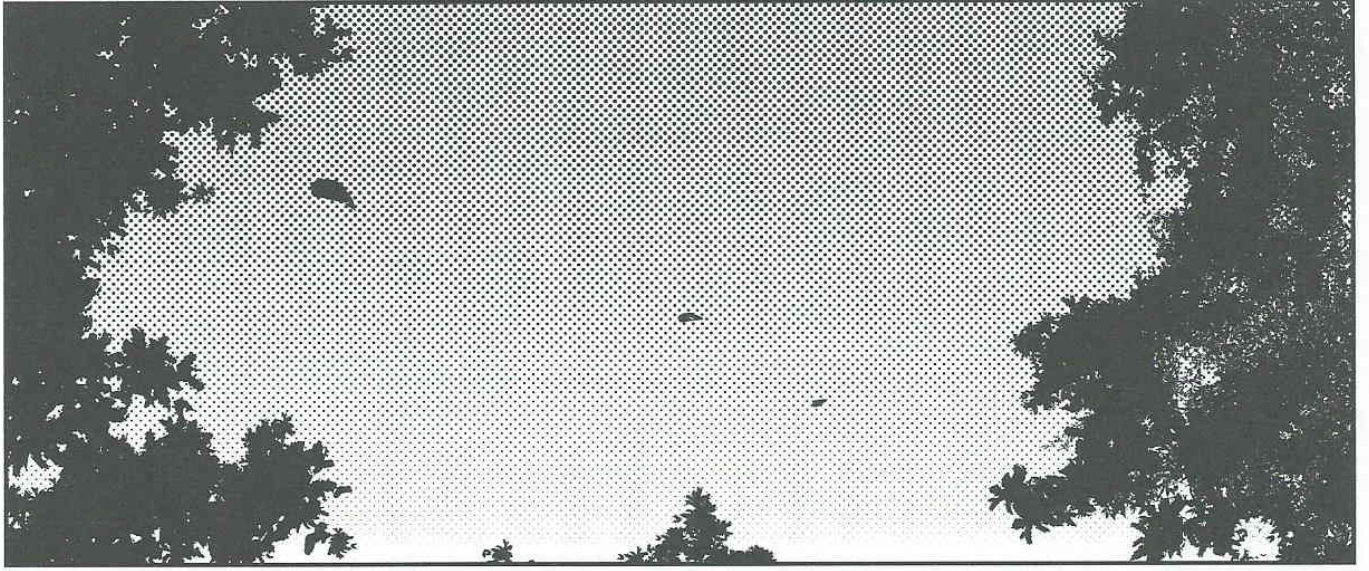
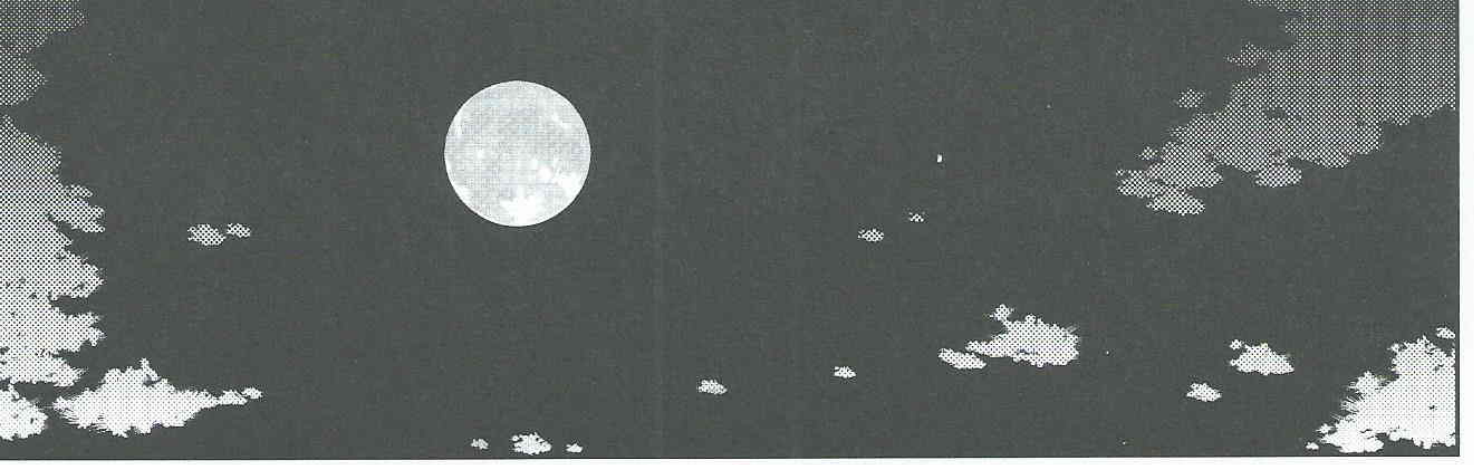




魔女は  
僕に恋をした。

*Witch is in love with me, Horio Shiwasa presents, Touhou project fan book.*





その日歩いた夜道は



甘いクチナシの香りがした



魔女は  
僕に恋をした。

*Witch is in love with me. Dorio Shiwasa presents. Touhou project fan book.*



香霖も  
来るのかよ



ちよつと  
変わった酒を  
入手したんだけど

もう聞きつけた  
らしくてね

今夜届けて  
ほしいそうだ



ふーん…

…何時くらいに  
なんの？

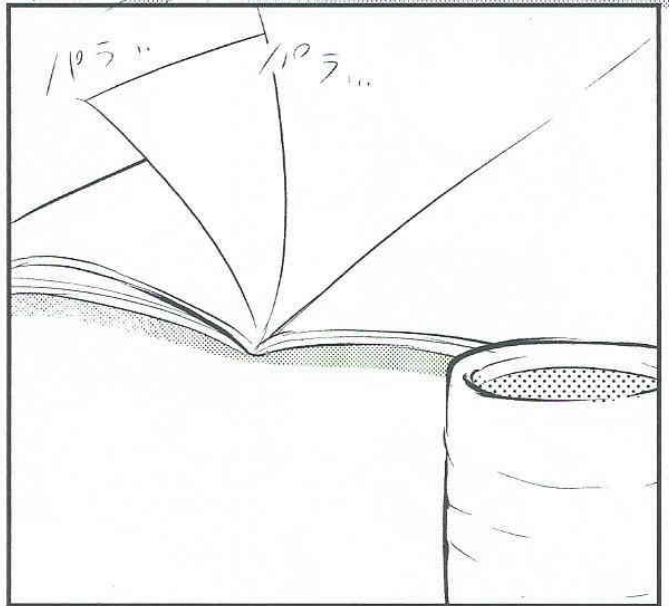
うーん

まあ店を終えて  
からだから  
遅れはするかな



ギィ…





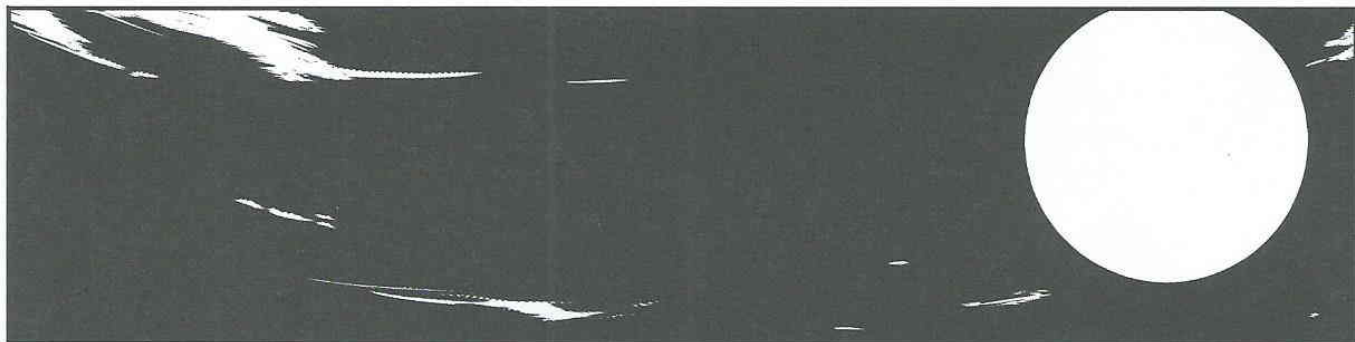
私も……さ







悪いけど…

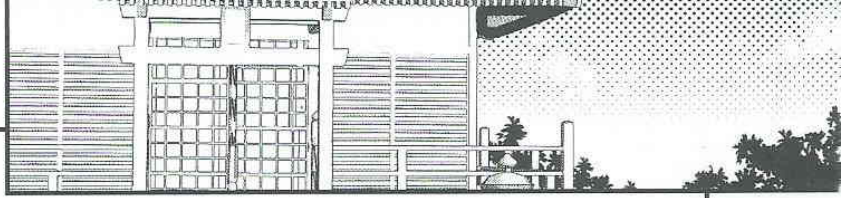


それは彼のいつものこと

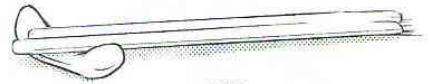
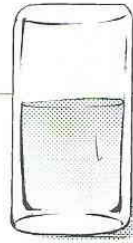


でもそれならいっそのこと——





ほんと遅いわねえ



お前がペース  
早すぎなんだろ

もう来るんだから  
我慢しろよ

まあまあ



これじゃお酒

飲み終わって  
しまうじゃない



あら

彼が来なくて  
ご機嫌斜めな  
のはわかるけど

八つ当たりは  
やめなさいよ

.....

そんなん  
じゃないし





なああ!?

そんな事  
いえるわけ?



よくいうわ  
いつも横に  
いるくせに

貴方これを  
見ても



変な子ね

素直になる  
だけでしょ



何が難しいのよ



深読みしすぎだろ!

もう!  
相手してられるか

いい感じに  
撮れてるでしょ

文の写真  
もう出来たの





霖之助さんも  
同じだわ



：仕方が  
無いんじゃない

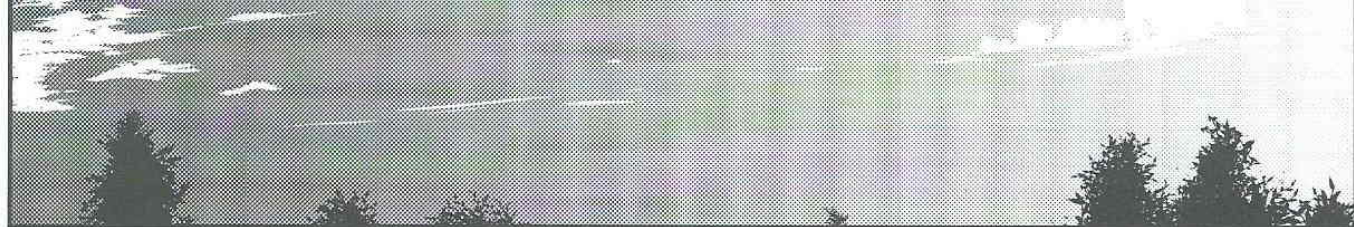
え？

だって  
そんな事  
いったら



どうだろうな





香霖にとっても、きっと私が特別で



それと同時に彼は私を拒絶する



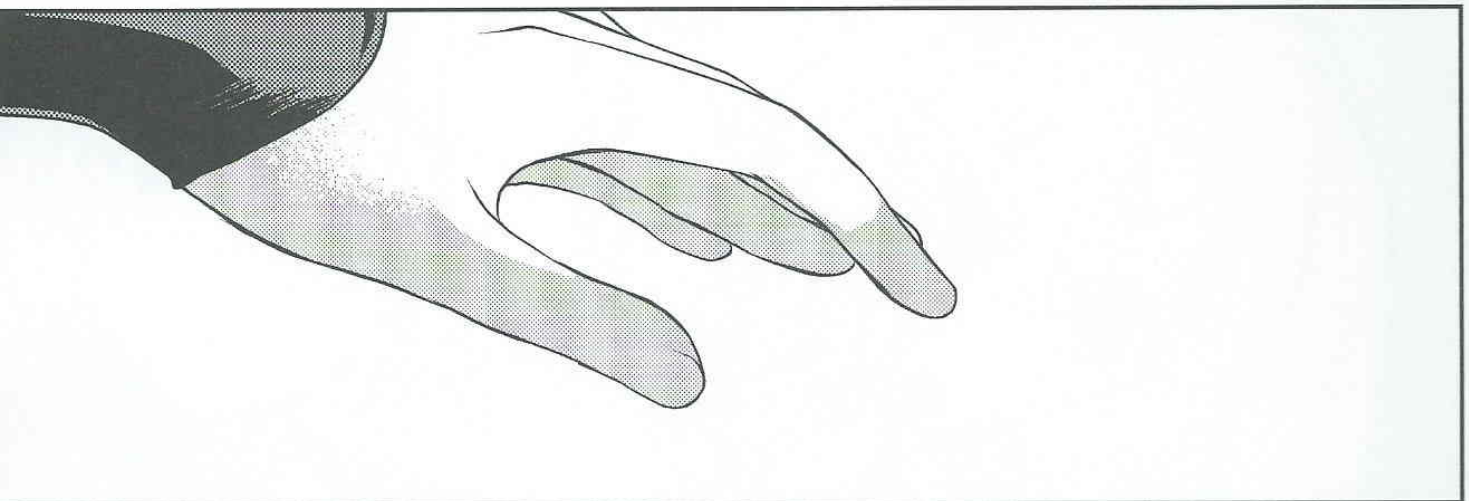




この距離を深めたくないというならば



どうして

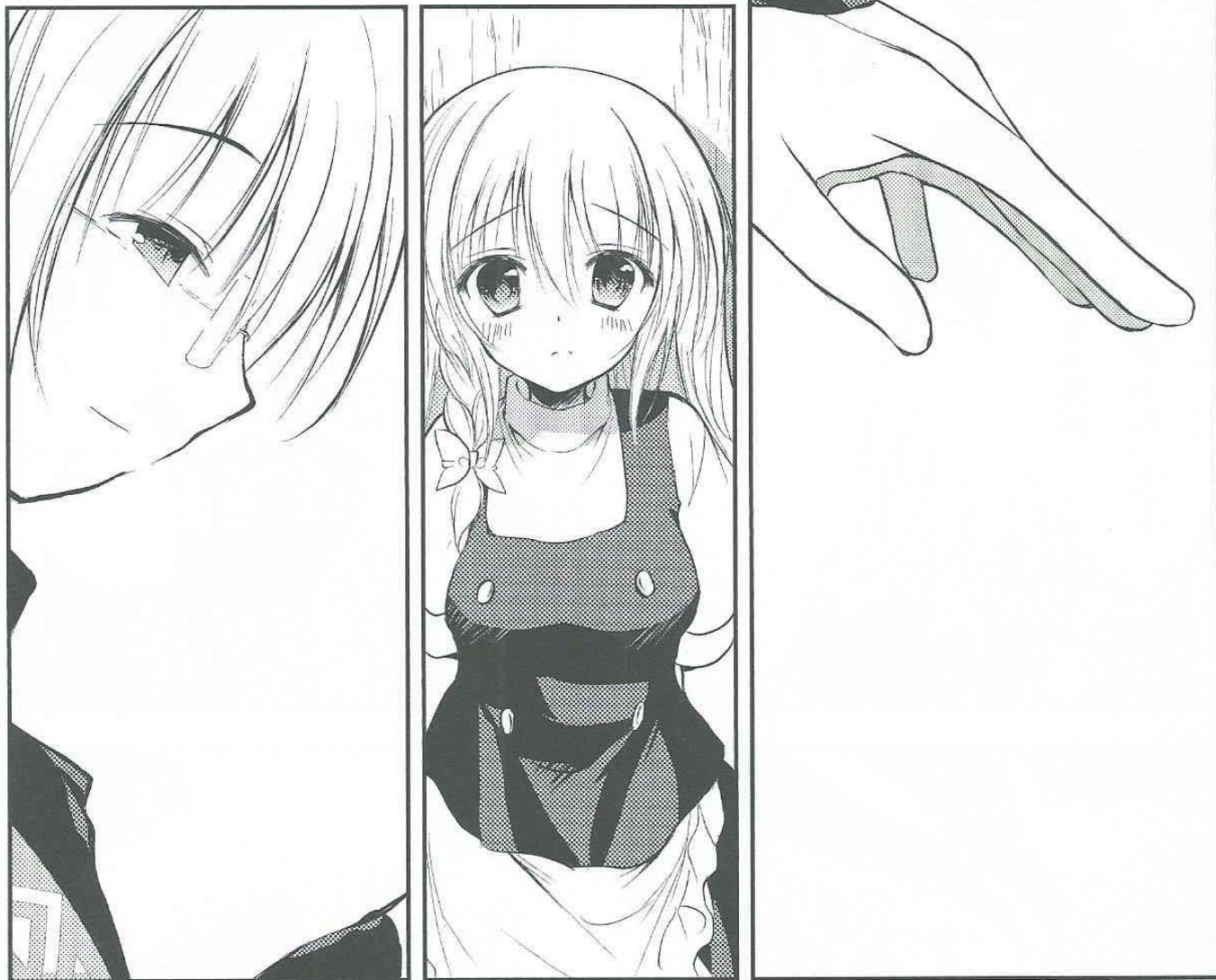






どうしたんだい  
こんなところで





優しくするんだよ







大丈夫？











どうしてだろうな

途切らせれたら  
楽なのにね



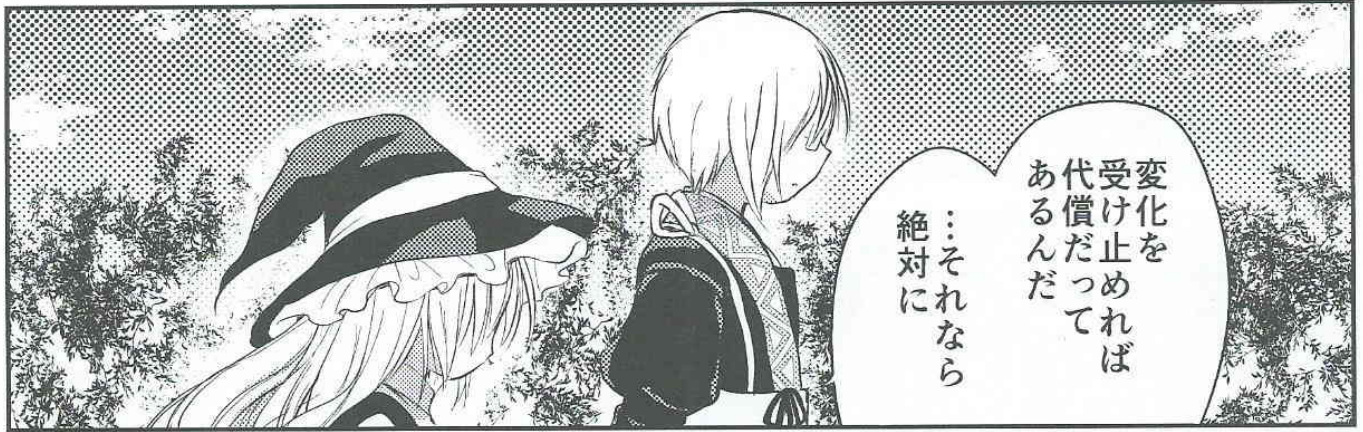
でも

いつも同じ事の  
繰り返しで  
時々すごく  
後悔するんだ



自分で  
望んだ事なのに









私は香霖に  
何かをいえる  
立場じゃない



そっか…



彼が想像する  
受け入れた先を  
恐怖するように

私だって  
拒絶されたら

怖く突破など  
出来ない



でも  
—  
…





甘い香りが頬を撫でる



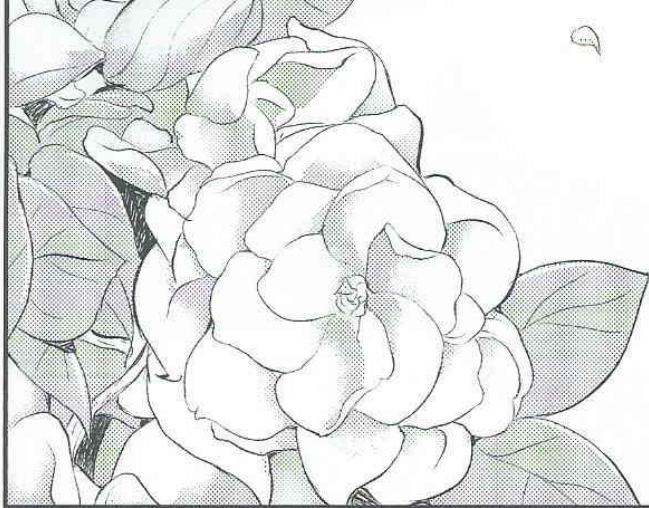
クチナシ

もうかなり  
開花しているね



それは初夏の終わりを告げる時





花は静かに

咲いて散る